



写真/小澤 浩之
文/青沼 豊晶

ALPS PRESS

2010年 3月 30日



長野県塩尻市塩尻町260番地 TEL.0263 - 52 - 1150

社員総出で葡萄の苗を植えました。



お昼休みに記念撮影

株式会社アルプスは、信州塩尻の葡萄栽培の振興と、美味しいワインを消費者の皆様にお届けするため、新たに農業法人アルプスファームをつくりました。2008年に発足以来、この度2.2ヘクタールの畑に第一回目の葡萄の苗を植えました。新しい葡萄畑は、塩尻市西域『奈良井川』の河岸、葡萄栽培の最適地と言われています。私達は、20ヘクタールの自社農園を目標に、生産者の方々と一緒になって頑張ります。皆様の応援よろしくお祈りします。



3月27日、前日までは連日雪が舞う不順な天候に心配しましたが、雲一つ無い晴天になりました。

本社工場社員、約80名は、二人一組で協力し、メルロー、シャルドネなどの欧州系品種を植えつけました。東西100m、南北220m、垣根仕立てに沿って苗木を1m間隔で、近く総量8,700本を定植します。



新しい葡萄畑は、水田として使用されてきました。昨年より、水はけを良くする大がかりな工事と、土壌改良のため、葡萄の搾汁残渣を発酵させた自社肥料を鋤き込みました。やや傾斜し、うねった葡萄畑は、3年後、見事な葡萄と景観を見せてくれる事でしょう。

アルプスの栽培契約農家は、松本平を主に400戸あります。私達は、信州塩尻を中心としたこのすばらしい自然と、そしてそれを創造する地場産業を、地域の皆様と

